

別記様式第2号(第12条関係)

受付番号	平成26年 第4号
受付日	平成26年 4月8日
質問者	小林 博次 議員

## 文書質問答弁書

回 答 日：平成26年4月16日  
担 当 部 局：市民文化部

四日市市議会基本条例第16条第1項の規定に基づく小林博次議員の文書質問について、同条第3項の規定に基づき、下記のとおり答弁いたします。

### 質問

件名 四日市市の文化行政について

これまでの市の文化行政について(過去10年)、事業項目、その他予算等に関し、市が行ってきたことがわかる説明をお願いします。

### 答弁

過去10年間における文化行政について説明いたします。

本市では、平成14年6月に、議員提案により「四日市市文化振興条例」が制定され、同条例に基づき設置した四日市市文化振興審議会に調査・審議を諮問し、同審議会の答申を受けて、平成17年3月に、文化振興施策の総合的かつ計画的な推進を図るための文化の振興に関する基本計画(文化振興ビジョン)を策定しました。

同条例には、市の役割として、(1)多様な文化活動の促進や、(2)文化の担い手の育成、(3)伝統文化の保全及び継承、(4)文化交流の促進、(5)文化に関する情報の発信、(6)文化を創造する環境づくりが掲げられており、これらの柱に基づき文化振興ビジョンの実現に向けて、様々な施策を推進しております。

また、文化行政を全庁的に推進するため、平成17年度からは文化振興の所管をこれまでの教育委員会事務局から市長部局へ移管し、ビジョンに描かれた「住み続けたいくなるまち・四日市」の実現に向けた具体的な施策を「四日市市文化振興実施計画」にまとめるとともに、具体的な取組みにおいては、企業関係者や高校生などを含む文化振興に関する市民会議を設けて、市民目線のご意見を頂戴しております。

さらに、庁内の関係部門で構成する文化行政総合企画調整会議を設け、全庁的な情報共有や連絡調整を図っており、ビジョンの体系に基づき、文化振興に関する具体的な事業の推進について毎年度、文化振興実施計画を取りまとめ、進捗管理を行っております。

平成24年度には、文化行政を取り巻く環境の変化への対応と平成23年から施行された総合計画との整合を図るため、四日市市文化振興審議会の答申をふまえ、ビジョンの更新を行いました。

また、平成24年を「四日市の文化力元年」と位置付け、四日市の文化力を全国へと発信する「全国ファミリー音楽コンクール」の開催により四日市のイメージアップを図るとともに、各地区の伝統芸能や趣向を凝らした芸能を一堂に会して競演する「郷土が誇る芸能大会」を開催し、本市の文化力の育成と発信に努めております。

さらに、平成26年度の組織の見直しにより、文化国際課を文化振興課として、文化振興業務の充実を図ってまいります。

なお、過去10年間(平成16年度～平成25年度)の事業項目、決算額等一覧につきまして、別紙のとおり提出いたします。

## 過去10年間（平成16年度～平成25年度）の事業項目、決算額等一覧

年度	事業項目	事業の目的・概要	決算額（H25は、予算額）（単位：円）			
平成16年度	芸術鑑賞会開催事業	平成16年度において、成長期にある子どもたちに優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、豊かな創造性と情操の涵養に資することを目的に、(財)四日市市文化振興財団へ委託し文化会館を会場として、子どもたちのための公演を行った。また、学校を訪問してコンサートを開催する、学び舎音楽会を行った。	H16	1,300,000		
平成16・17年度	文化振興ビジョン調査事業	平成16、17年度において、四日市市文化振興条例に定められた、文化振興に関する基本計画（文化振興ビジョン）及び実施計画について、調査研究のうえ策定を行った。	H16	290,578		
			H17	95,440		
平成16～25年度	四日市市美術展覧会開催事業 【継続事業】	昭和48年に教育委員会が主催して以来開催している。 市民の創作意欲を高めるとともに、美術に対する理解を一層深め、本市の美術水準の向上に寄与する公募による美術展。 文化会館展示棟及び第4ホールを会場に開催し、日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真の6部門から、例年およそ500点の出品がある。平成24年度は、展覧会の開催を休止して運営のあり方について見直しを図るとともに次年度開催準備を行い、平成25年4月の第40回記念となる美術展覧会では、例年どおりの公募展とともに市美展40年を振り返る回顧展を博物館にて同時開催した。平成26年7月に第41回を開催する予定としている。  【出品点数の実績】 平成16年度 / 509点 平成17年度 / 489点 平成18年度 / 531点 平成19年度506点 平成20年度 / 502点 平成21年度 / 494点 平成22年度 / 581点 平成23年度566点 平成24年度 見直しのため開催せず 平成25年度 / 490点	H16	3,017,553	H21	3,650,100
			H17	2,920,376	H22	3,099,070
			H18	3,800,000	H23	3,848,580
			H19	3,800,000	H24	1,663,532
			H20	3,500,000	H25	5,725,000
	市民芸術文化祭開催事業 (平成23年度～郷土が誇る芸能大会) 【継続事業】	文化祭を通じて、市民が芸術・文化に親しむとともに、文化活動への積極的な参加を促し、市民文化・地域文化の発展と向上に資するため、文化会館を主な会場として、「日本舞踊まつり」、「四日市アート展」、「四日市短詩型文学祭」など年間を通じて約30件の文化事業を開催している。 平成23年度からは、地域に大切に保存・継承されている芸能や、趣向を凝らした芸能などが一堂に会して演じ合う、郷土が誇る芸能大会を市民芸術文化祭行事として開催している。	H16	4,080,000	H21	4,080,000
			H17	4,080,000	H22	4,080,000
			H18	4,080,000	H23	5,882,853
			H19	4,080,000	H24	6,133,175
			H20	4,080,000	H25	6,100,000
文化功労者・市民文化奨励賞の表彰 【継続事業】	本市の学術、芸術その他の文化の振興に寄与し、その功労が顕著な者に対して荣誉をたたえ、その功績を顕彰するため文化功労者として表彰する。 また、本市における市民文化を振興するため、文化における活躍と文化振興への寄与が将来においてさらに期待される者を奨励して、市民文化奨励賞として表彰を行う。 被表彰者の功績は、広報よっかいちにて公表し、表彰者名簿に登載して永く顕彰する。 【平成25年度までの実績】 文化功労者106名(個人105人、1団体) 市民文化奨励賞12名(個人6人、6団体)	H16	131,761	H21	151,293	
		H17	131,647	H22	236,783	
		H18	164,639	H23	225,891	
		H19	239,729	H24	245,364	
		H20	262,146	H25	238,000	

年度	事業項目	事業の目的・概要	決算額（H25は、予算額）（単位：円）			
			H16	H17	H18	H19
平成16～25年度	文化会館・茶室の管理運営 【継続事業】	本市の文化振興の拠点施設である、四日市市文化会館と四日市市茶室「泗翠庵」の管理運営を委託する。平成18年度からは、指定管理者制度を導入して、公益財団法人四日市市文化まちづくり財団により管理運営を行っている。	H21	221,081,000	H22	221,947,000
			H23	221,947,000	H24	221,947,000
			H25	222,642,000		
			H16	318,111,267	H17	371,816,109
			H18	327,557,000	H19	325,526,000
	文化会館駐車場賃借料 【継続事業】	文化会館の駐車場不足に対応するため、文化会館利用者用駐車場として民間から借用する土地の賃借料	H21	16,213,752	H22	16,213,752
			H23	16,213,752	H24	16,213,752
			H25	16,214,000		
			H16	16,213,752	H17	16,213,752
			H18	16,213,752	H19	16,213,752
	文化振興基金積立金 【継続事業】	市民文化の育成や振興に役立てるため、市と市民とが協力して積み立て、運用している「四日市市文化振興基金」への寄付金を積み立てる。  * 平成25年度末基金残高 195,849,704円	H21	40,000	H22	342,022
			H23	0	H24	0
			H25	1,000,000		
			H16	40,611	H17	40,000
			H18	51,348	H19	70,000
	四日市市文化団体(四日市市文化協会) 活動支援事業 【継続事業】	自主的で創造的な文化活動に市民が参加できる機会を創出し、また、豊かで魅力ある地域社会づくりの推進を図るため、機関誌「パッション」の発行といった四日市市文化協会が自主的に行う文化事業に補助を行っている。	H21	1,498,000	H22	1,498,000
			H23	1,498,000	H24	1,498,000
			H25	1,498,000		
			H16	1,498,000	H17	1,498,000
			H18	1,498,000	H19	1,498,000
文化振興基金活用事業 【継続事業】	まちの誇りと希望を創出する文化的事業を支援することにより、本市における文化の普及・振興を図るとともに、活気あふれる四日市の創造を目的として、四日市市文化振興基金を活用して、市民が主催する文化事業に助成している。 市域全体を対象とした全市事業と地区を対象とした地区事業の2種類がある。  【過去の実績】 平成16年度 全市事業3件、地区事業10件 平成17年度 全市事業3件、地区事業8件 平成18年度 全市事業6件、地区事業9件 平成19年度 全市事業3件、地区事業9件 平成20年度 全市事業1件、地区事業6件 平成21年度 全市事業5件、地区事業9件 平成22年度 全市事業3件、地区事業11件 平成23年度 全市事業4件、地区事業7件 平成24年度 全市事業1件、地区事業8件 平成25年度 全市事業3件、地区事業13件	H21	1,563,700	H22	1,431,700	
		H23	1,465,115	H24	1,025,475	
		H25	1,645,000			
		H16	1,384,000	H17	1,190,000	
		H18	1,953,800	H19	1,397,700	
H20	723,700					

年度	事業項目	事業の目的・概要	決算額（H25は、予算額）（単位：円）			
			H16	H17	H18	H19
平成16～25年度	文化会館施設整備事業 (アセットマネジメント事業を含む) 【継続事業】	竣工後32年が経過し、施設の老朽化が進む四日市市文化会館について、長寿命化と安全で快適な利用環境を創出するため、計画的に設備の改修や備品の更新を実施している。  【主な工事实績】 ・平成17～21年度 第1・2ホール吊り物更新工事 ・平成22年度 第1ホールエレベーター設置工事 ・平成22年度 高圧受変電設備更新工事 ・平成24年度 展示棟エレベーター設置・吊り天井崩落対策ほか工事 など	H16	49,965,825	H21	113,485,640
			H17	73,408,778	H22	149,374,085
			H18	70,229,250	H23	33,961,200
			H19	100,289,070	H24	106,899,850
			H20	87,729,285	H25	91,300,000
平成17・18年度	丹羽文雄記念室整備事業	平成17年4月に100歳で逝去された、文化勲章受章者であり、本市の名誉市民である、丹羽文雄を顕彰することを目的として、博物館内へ丹羽文雄記念室を設置するため、平成17年度に展示設計を行い、平成18年度に整備し、博物館3階にオープンした。	H17	29,333,640		
			H18	82,263,300		
平成17～19年度	文化会館耐震化工事	文化会館の耐震化を図るため、平成17年度に設計を行い、平成18・19年度の2年度にかけて耐震化工事を実施した。 【工事の概要】 ・第1ホール 壁の増設、屋根部分に鉄骨トラス増設、屋根裏部分でボルト増設 ・第2ホール 屋根裏部分でボルト増設 ・会議棟 1階外部で壁の増設	H17	16,275,000		
			H18	48,000,000		
			H19	51,540,000		
平成17～25年度	文化振興審議会等開催事業 【継続事業】	四日市市文化振興条例に定められた、文化の振興に関する事項について調査審議することを目的に文化振興審議会を設置し、毎年度、文化振興ビジョンに沿った取り組みの方向性や事業の進捗、計画等について審議している。 また、平成18年度から行政内部の企画・調整を行う文化行政総合企画調整会議や市民の意見をより文化行政に反映させるため、文化振興に関する市民会議を設置し、適宜、会議を開催している。	H17	110,600	H22	109,372
			H18	94,800	H23	206,555
			H19	307,895	H24	219,869
			H20	247,072	H25	249,000
			H21	218,245		
平成18～21年度	公共ホール音楽活性化事業	平成18～21年度において、国の外郭団体の助成を受け(平成21年度は、市単独)、次代を担う小中学生を主な対象として、より良い芸術に触れる機会を充実するため、気鋭のクラシック音楽のアーティストを小学校へ派遣して、音楽室などの身近な場所でミニコンサートを開催し、文化会館でもコンサートを開催した。 平成20年度には、当事業で出演したアーティストを再び招へいし市制111周年記念コンサートを開催した。	H18	627,959		
			H19	1,020,282		
			H20	2,961,646		
			H21	1,220,665		
平成18～23年度	丹羽文雄記念室関連事業	丹羽文雄記念室や丹羽文雄ゆかりの地を語る「語り部」を広く市民から募集して、育成を図り、記念室来場者への解説などを行った。なお、当記念室は、平成24年度に博物館へ移管した。	H18	1,032,375	H21	137,960
			H19	265,137	H22	121,180
			H20	215,243	H23	161,500
平成18～25年度	民間文化施設活用事業 【継続事業】	市内の高度な機能を有する民間文化施設における市民による質の高い文化事業を支援することにより、市民が優れた芸術文化に低廉な価格で触れられる機会を提供することを目的に実施している。 対象となる民間文化施設 / 第一楽器「ムーシケホール」、109シネマズ四日市  【過去の実績】 平成18年度 / 2件 平成19年度 / 2件 平成20年度 / 2件 平成21年度 / 1件 平成22年度 / 2件 平成23年度 / 3件 平成24年度 / 3件 平成25年度 / 3件	H18	260,990	H22	400,000
			H19	400,000	H23	600,000
			H20	380,000	H24	600,000
			H21	200,000	H25	800,000

年度	事業項目	事業の目的・概要	決算額（H25は、予算額）（単位：円）	
平成20年度	市制施行111周年記念事業	平成20年度において、市制施行111周年を記念する文化事業を実施した。 四日市太鼓フェスティバル...市内の諏訪太鼓チームが中心となった実行委員会が市内外の太鼓団体を招へいして文化会館で開催した。 本因坊戦第4局開催...高尾本因坊が四日市にゆかりがあることから、茶室泗翠庵を会場に開催した。	H20	6,161,000
平成21年度	緊急雇用創出事業	平成21年度において、国の緊急雇用創出事業を活用し、文化の駅設置に向け、市内にどのような文化団体があるのかといった基礎調査について業務委託を行った。また、茶室泗翠庵の植栽について手入れ業務の委託を行った。	H21	935,130
平成21～25年度	文化の駅推進事業 【継続事業】	市民が文化活動の発表や体験、及び文化活動を通じた交流ができる拠点を創出するとともに、芸術・文化の力によってまちの賑わいを創出するため、中心市街地を中心とした市内各所に「文化の駅」を開設する。 また、平成24年度からは、文化の駅メインステーションを会場に開催する市民の文化事業を支援する「文化の駅メインステーション活用事業」を行っている。  文化の駅 メインステーション(文化の諏訪駅)(平成21年度～) 同 サテライトステーション(平成22～25年度) 同 ローカルステーション(平成21年度～) 同 メインステーション活用事業(平成24年度～)	H21	3,903,964
			H22	8,927,808
			H23	9,157,780
			H24	8,065,000
			H25	8,520,000
平成22年度	歌と音楽による四日市の元気創造事業	平成22年度において、芸術文化が持つ力で市民やまちが元気になるよう、気鋭のクラシックアーティストと四日市にゆかりのあるミュージシャンによるコンサートと小学校を訪問しての演奏をそれぞれ実施した。	H22	4,808,445
平成23年度	芸術・文化による四日市の元気創造事業	平成23年度において、世界で活躍する若いプロのアーティストが、市内の小学校で演奏するとともに、文化会館において、小学生を対象としたコンサートを開催した。	H23	634,735
平成23～25年度	全国ファミリー音楽コンクールinよっかいちの開催 【継続事業】	都市の活力の両輪である文化と産業が互いに響きあう、魅力と活気あふれたまちを創るため、音楽が持つ力で人々を感動させ、共感しあう音楽コンクールを開催し、四日市の文化力を全国発信することを目的として、「家族」と「絆」をテーマに、音楽ジャンルを問わない全国公募の音楽コンクールを開催する。 【過去の実績】 ・平成24年度 第1回 応募団体数93団体 観客動員数1,570人 ・平成25年度 第2回 応募団体数24団体 観客動員数1,260人	H23	1,493,296
			H24	6,424,894
			H25	6,500,000
平成24年度	文化会館開館30周年記念事業	平成24年度において文化会館開館30周年を市民に広くPRし、市民とともに祝うため、記念コンサートの開催や文化会館の記念パンフレットの作成を行った。	H24	4,830,187
平成24・25年度	芸術文化活動の場づくり事業 【継続事業】	総合計画において、今後遊休化する公共施設(学校施設)の有効活用を視野に入れた、新たな芸術・文化活動の場づくりを進めると位置づけている。このことを受け、平成24年度において遊休化する公共施設(学校施設)の有効活用を前提とした芸術・文化活動における練習・発表の場として求められる機能等を盛り込んだ概略構想をとりまとめた。	H24	1,446,260
			H25	(5,000,000) 全額減額補正